

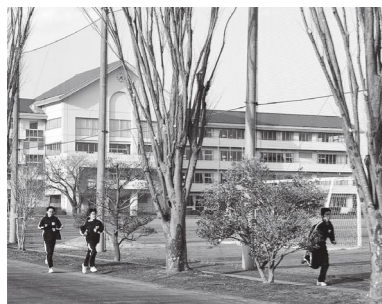
一貫教育

文科省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等」

鉢形・折原小学校の統合について

答弁：城南中学校による小中一貫教育を目指したい

原口 孝 議員



小中一貫・一貫教育に環境整備移行へ

問 鉢形・折原地区の生徒数は減少傾向。教育の充実を図るには一貫校による学力向上と人間力を養うことが大切です。「教育施策の充実強化」を掲げる今、決断の時期だと思いますが、考えを伺います。
答 3中学校体制を軸に検討していきます。城南中学校区においても鉢形・折原小学校と城南中学校の小中一貫教育を目指したいと考えています。統合には保護者や住民の皆さんによる理解と協力が不可欠であり、十分話し合う必要があります。具体的には学校施設個別計画策定の中で検討していきたいと考えます。

ことば

***子ども食堂** 地域住民や自治体が主体となって無料または低料金で子どもやその家族に対し、食事を提供するコミュニティの場です。

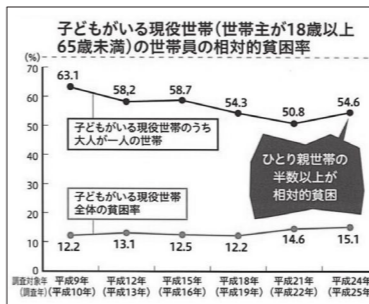
貧困対策

子ども応援ネットワーク 埼玉(子ども食堂：動画)

子どもの貧困の実態は

答弁：町として、実態をつかめていません

鈴木 詠子 議員



ひとり親家庭に増えている相対的貧困(国民生活基礎調査・厚労省 平成25年)

問 7人に1人が貧困状態にあるという「子どもの貧困対策」は町の喫緊の課題。ひとり親家庭の負担軽減のための「ひとり親家庭医療費窓口払い廃止」の考えは。
答 自己負担金や付加給付の取り扱いにかかる課題があることから、引き続き研究をしていきます。
問 当町には子ども食堂(※)がまだありません(県内には178カ所)。民間の力を借りた運営への働きかけと支援について伺います。
答 県の「子どもの居場所づくり支援事業」等の活用により、子どもの支援を希望する民間団体等への支援について研究をしていきます。

聴く 動く

ギカイ進化論

寄居議会だより2連覇!!

皆さんと共に……そして「さらなる進化」へ!

寄居議会だよりが、2年連続(平成29・30年度)で町村議会広報の日本一となりました(下表参照)。評価されたのは「常に進化を求める紙面構成」と、何より「町民と共に歩む議会」という姿勢が、紙面への町民登場の質と量に表れていること。この2連覇は、**町民の皆さんと共に勝ち取った日本一**です。

●●●● これからの目指すべき方向 ●●●●

議会だよりは▶活字 + 映像・音声をめざす

議会は▶審議・議論の質をさらに高める

議員は▶議会人としての質を高める

町の課題を「自らの課題」として考える町民を増やす



第33回(平成30年度)町村議会広報コンクール結果(全国町村議会議長会ホームページより)

第1位 寄居町議会 [埼玉] ※第1位	第6位 大刀洗町議会[福岡] ※第4位
第2位 川崎町議会 [宮城] ※第8位	第7位 金ヶ崎町議会[岩手] ※第3位
第3位 川西町議会 [山形] ※第2位	第8位 利府町議会 [宮城] ※第6位
第4位 芝山町議会 [千葉]	第9位 玉村町議会 [群馬] ※第7位
第5位 小川町議会 [埼玉] ※第5位	第10位 仁木町議会 [北海道]

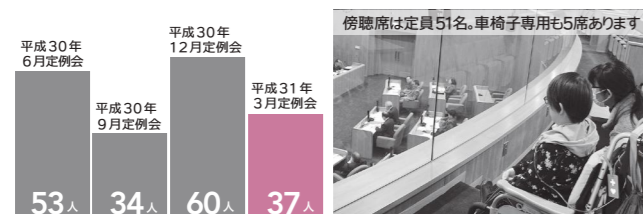
全国から279議会が応募(※印は前回順位)。「直近の最優秀受賞団体がトップ10に名を連ねる中で第2位に大差をつけての最優秀賞」(『地方議会人』3月号)と評された2連覇。快挙と言えます!



最優秀賞に輝いたNo.88。裏表紙の関連記事も、ぜひご覧ください。

議会を傍聴しませんか?

3月定例会本会議の傍聴者数は37人。委員会傍聴者数は0でした。



傍聴席は定員51名。車椅子専用も5席あります

6月定例会は6/4(木)▶21(金)の予定です

議案審議 | 一般質問 | 常任委員会

質問者数により日程が変更になる場合があります

6/4(木) 21(金) 6/7(土) 10(月) 11(火)

いずれも午前9時開会

審議議案は5月下旬に町公式ホームページに掲載予定です

請願・陳情を出される方は 寄居町議会事務局

5/21(火) 午後5時までに提出ください ☎ 581-9995



文化芸術

埼玉県文化芸術振興計画2016-2020

総合記念館の設立について

答弁：設置予定はありません

笠原 則夫 議員



向学心を高める生涯学習の場を!

問 寄居町内外多くの方に、この町に興味を持っていただき、子どもや若者の向学心を高めながら生涯学習の場としても活用でき、さらに寄居町出身の著名人やアスリートを紹介できる「(仮称)寄居町総合記念館」を設立するための設立検討委員会を設置する考えについて伺います。
答 提案の総合記念館については、施設の設置の計画がありませんので、設立検討委員会の設置を行う考えはありません。

教員労働

文科省「教員勤務実態調査(平成28年度)」

教員増の対策で改善を

答弁：教員増は容易でなく、代替策で対応

大澤 博 議員



外国人講師は町独自予算で採用

問 教員勤務実態調査より、平均12時間近く働き、精神疾患が増え、過労死も後を絶ちません。教員は労働者であり教育の専門家です。専門性の発揮にはそれにならざる労働条件を、教員の負担軽減には教員員の定数増が必要です。町独自で教員員の採用が必要と考えますが、町の考えは。
答 改善のために教員員を増やすことも一つの対策と考えます。人材確保や費用面から見ても容易ではないことから、代替策として、小学校にスーパーアドバイザー、中学校には部活支援員や部活指導員を配置しています。